

ひふみのあゆみ

ひふみ投信 ご報告書
2010年7月16日号

レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会: 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会



お客様の資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。
運用責任者から皆さまへのメッセージや当社社員のコラムをお届けいたします。

7月の中間運用報告

7月の株式市場は世界的に冴えない状況が続いています。しかし長期的な方向性は見え始めてきているように思っています。先月末に開かれた20カ国・地域(G20)首脳会議での合意は、先進国が財政再建を重要視すること、米国は特に経常赤字を減らすこと、アジアを中心とする新興国が内需を中心とした成長へとシフトをして行くこと、ギリシャなど財務内容の悪い国は破綻させない、という方向性です。そして、大きな枠組みでの国際合意が取れたことによって、世界の金融市場がリーマン・ショックの再来になるリスクは遠のいてきたと予想され、ある程度、今後の方向性を決める意思決定がなされたと考えています。

為替相場は、短期的にはユーロ安、円高の進展が続くおそれがありますが、中長期的には主にアジアを消費地として成長を享受できる企業を中心にポートフォリオを構築して行くことが求められていると考えています。

現在のひふみ投信の中身(ポートフォリオ)ですが、短期的な株式市場の下落リスクを避けるために、総資産に対する株式の比率を引き下げました。その中で、医療関係の魅力的な中堅企業を新たに組み入れています。ポートフォリオは守備的な度合いがさらに強まっていますが、株式市場が大きく下落するようになった時には、生産基地から消費市場へと転換している中国において商品の販売拡大が期待できる企業への投資比率を上げようと考えています。

(ひふみ投信 運用責任者 藤野英人)

ひふみのはてな

セミナーなどでお客様より頂いたご質問を紹介します

この1ヶ月で最も多く頂いたご質問を紹介します。
7月3日に名古屋で開催したセミナーでも、同じようなご質問をいただきました。

Q: ひふみ投信では海外の株式を組み入れる可能性はありますか？

ひふみ投信は、日本国内のみならず海外の株式にも投資できるように設計されています。現在のところは日本株式のみに投資していますが、将来的には海外株式にも投資をすることも検討しています。

ひふみ投信に限らずどの投資信託でも、投資する株式の売買にかかる手数料などのコストはファンドの資産から差し引かれており、間接的にお客様が負担していることとなります。そして、海外株式への投資には売買手数料以外にも資産の保管等にかかるコストが発生しますし、インフラ整備のコストもございます。

ひふみ投信は現状ではまだ運用サイズ(残高)が小さく、この中で海外株式に投資した場合にはコストの割合が相対的に高まります。また、日本の株式市場には、銘柄選択によっては投資収益を追求できる可能性があり、運用残高が例えば100億円程度まで大きくなるまでは現状のスタイルで成果を出すことが期待できると判断しております。

当社のセミナーでは、運用責任者がお客様のご質問に直接お答えしています。詳しい日程は3ページ目をご参照ください。また現在は「『運用のプロが教える 草食系投資』出版記念セミナー」でも各地におうかがいしています。ぜひご参加いただき、ひふみ投信や長期投資についてご不明な点をお気兼ねなくおたずねください。多くのお客様にお会いできますことを楽しみにお待ちしております。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

ひふみのむしめがね

当社の運用チームは、有望な投資先を探すために、日々調査活動を行ない、「見えないモノを見る力」の向上を目指しています。その中で注目した「事象」についてピックアップし、メンバーが月替りでお伝えいたします。「ひふみ投信」の組入銘柄に関する事項を含む場合がありますが、世の中のトレンドや新しいサービスなど、幅広い内容の中から抽出してお伝えいたします。なお、個別企業の記述につきましては、その投資推奨を目的とするものではありません。

人口動態から投資を考える

「日本は高齢化社会を迎えた」という話はよく聞きますし、「だから日本の介護・医薬・医療関連市場は伸びて、株式投資でも成長銘柄を発掘できる」という方もいます。でも、もうちょっと深く考えてみると、すこし異なる考え方もあります。

まず、65歳以上の高齢人口の推移を例に挙げて考えてみましょう。最近の統計によると、現在の日本の高齢人口は2,934万人です。2015年頃までは年平均3%程度増加するのですが、その後の5年間平均では+1.2%、さらに+0.3%とほとんど横ばいになると予測されています。

ほとんど伸びシロのなくなった介護・医薬・医療関連市場の中では、シェア争いやサービスの質向上など生き残りのための熾烈な戦いが繰り広げられるでしょうし、その結果として事業の収益性が低下したり撤退を迫られる企業も多くなるでしょう。特別養護老人ホームなど施設を建築する事業はさらに注意が必要です。なぜなら建物などの固定資産の投資コストを回収するには、数十年もの長い時間を要するからです。つまり、高齢者対象のビジネスだからといって、バラ色の成長が約束されているわけではないのです。

高齢者の増加に着目するならば、その絶対数ではなく、むしろ人口構成比の増大によって引き起こされる変化に注目する方が良いと思います。

現在、65歳以上の人口比率は約23%ですが、この比率は25年後に33%超、つまり国民3人に1人は65歳という状況が予測されています。この頃までには、現在のように介護士さんに大きく依存した介護産業の現場には大きな変化が起こっているでしょう。例えば介護援助ロボットの利用といった省力化や、外国人労働力の導入が切実に検討されているかもしれません。海外移住に踏み切るお元氣な高齢者の方も増えるかもしれません。

また、「日本は人口減少社会に突入した」という指摘もよく聞きます。「人口が減るのだから消費は低迷するだろう」という考え方もありますが、ちょっと見直してみると意外な成長機会がみえてくるかもしれません。ひとつご紹介できるのが、1971年から74年前後に誕生した団塊ジュニアの存在です。ちょうど彼らは結婚や出産といった人生の一大イベントを通じて、一生の中でもっとも消費する時期を迎えているのです。出生率は相変わらず1.3人程度の低水準のままですが、約千万人いる団塊ジュニア達に子供が誕生すれば、出生数は増加に転じるでしょうし、住宅等を購入すればきわめて大きな消費刺激になることは間違いのないでしょう。この機会を享受できる投資先は乳幼児関連市場であったり、家具や自動車のような高額な耐久消費財かもしれません。いずれにせよ、ここで注目する市場などは前述の高齢化で着目したものととはまったく異なります。

低所得化、雇用の不安や未婚化など、将来に悲観的になる要素が多いと言われていますが、団塊ジュニアが安心して幸せな家庭を築けるように、就業機会の増加や若年層への資産と所得の再配分などの様々な政策支援が組み合わされたら、社会構造の転換にも繋げることができるのではないのでしょうか。むこう数年間、今後の日本にとって大きな岐路であり転換点になる可能性もあると考えています。



(レオス・キャピタルワークス(株)運用部)

ひふみのかいぜん

ホームページの「よくある質問」を充実させます

当社のホームページでは約2年前から「よくある質問(FAQ: <http://www.rheos.jp/hifumi/faq/>)」のページを用意しており、当社のことから購入方法や税金に至るまで約70件のQ&Aを掲示しています。しかしながら、実際にお客様からいただくご質問をカバーしきれていない部分もあり、「ホームページのどこにも書いていなかったから、わざわざ電話やメールで聞かないといけない」というご不便をかけてしまうことがあります。私たちはお客様から頂いたご質問の履歴から不足していると思われる項目を洗い出し、約30件の追加や改訂を行ないます。近日リリースするお客様専用のWEBサービスや従来のホームページの両方に順次掲載いたします。どうぞご活用くださいますよう、お願いいたします。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

「ひふみ投信」のコミュニケーション(セミナー)のお知らせ

ひふみアカデミー

ひふみ投信の運用について詳しく知る

月2回発行される運用レポート「ひふみのあゆみ」に沿って、運用担当者がどのような視点で経済・株式相場を考え、銘柄を選択しているかなどについてお話しいたします。ひふみ投信について、投資哲学や具体的な特徴・しくみについて詳しく知りたいお客様や、他の投資信託との違いが知りたいお客様向けのセミナーです。

◆ 8月10日(火) 19:00 ~ 20:30 今回も動画配信を予定しています。

ひふみサロン

「ゆたかな暮らし」について考える

①くつろぎのある生活 ② お金と向き合う(お金の活かし方) ③ これからの経済や社会を考える のいずれかのテーマに沿って「ゆたかな暮らし」についてのヒントを得るセミナーです。毎回、各界でご活躍のゲストをお呼びしてお話を伺います。(「ひふみサロン」ではひふみ投信の運用に関するご説明や質疑応答は特になしとさせていただきます。)

◆ 7月27日(火) 19:00 ~ 20:45

「観た人の人生を変えられるような映画を撮りたい」 ゲスト: 映画監督 錦織良成氏

最新作「RAILWAYS 49歳で電車の運転士になった男の物語」は、5月29日より公開されています。

セミナーの詳細は→ http://www.rheos.jp/seminar_info/index_100727.html

◆ 8月24日(火) には、コモンズ投信(株)会長の渋沢健氏とセゾン投信(株)代表取締役社長の中野晴啓氏をお迎えして、草食投資について語っていただきます。

(こちらは近日中に申込受付を開始します)

ひふみサロン・アカデミーの開催場所 : レオス・キャピタルワークス セミナールーム

東京都千代田区丸の内1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内27階

JR東京駅 八重洲南口より徒歩3分/東京メロ 銀座線「京橋駅」より徒歩7分

地図はこちら→ <http://www.rheos.jp/about/overview/access.html>

お申込は、当社ホームページ(<http://www.rheos.jp/func/seminarIntro.jsp>)で受け付けています。

または、コミュニケーション・センターへのお電話(03-6266-0123)やE-mail(cc@rheos.jp)でも承っています。

「運用のプロが教える 草食系投資」出版記念セミナー

ひふみ投信の運用責任者である藤野英人が、コモンズ投信(株)会長の渋沢健氏・セゾン投信(株)代表取締役社長の中野晴啓氏とともに、「ゆっくりコツコツ資産を増やす」名付けて「草食系投資」をお伝えします。

【十勝】 2010年8月7日(土) 14:30~16:30 帯広市生涯学習部とかちプラザ講習室402 参加費:無料
お問合せ先:とかち東京クラブ・地元交流部 E-mail: tokachi.tokyo.event@gmail.com

【札幌】 2010年8月8日(日) 13:30~15:30 札幌市教育文化会館 研修室302 参加費:500円
お問合せ先: イデアプランニング
電話:011-219-3334 E-mail: ideaplan77@biscuit.ocn.ne.jp

【名古屋】 2010年8月28日(土) 13:30~15:30 中日コンサルティングプラザ セミナールーム 参加費:無料
お問合せ先: 株式会社 保険相談センター
電話:0120-875-875 E-mail: <http://www.hoken-sc.com/seminarform100828.php>

今後の開催予定は、当社ホームページで随時お知らせいたします。 http://www.rheos.jp/seminar_info/soushokutai.html

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用 : ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用 : 次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～

コミュニケーション・センター 電話: 03-6266-0123 (平日9時～17時) メール: cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。